



三次・庄原支部 だより

MIYOSHI・SHOBARA

広島県看護協会三次庄原支部会員数

保健師	11人(入会率14%)
助産師	37人(入会率103%)
看護師	754人(入会率69%)
准看護師	50人(入会率10%)
合計	851人(入会率51%)

三次の霧の海(高谷山から撮影)

ごあいさつ



ご挨拶

広島県看護協会

支部担当理事 **阿川 純子**
[市立三次中央病院]

令和4年度より広島県看護協会三次・庄原支部担当理事に就任いたしました。微力ではありますが、看護協会役員・支部役員・委員の皆様とともに、一生懸命努めてまいりたいと思います。

これまでのコロナ感染症拡大では、広島県看護協会と支部との協力体制があり、看護職連携の力強さを実感いたしました。そしてこの県北地域においても、看護だけでなく福祉・介護・行政での情報共有がなされ、未だ継続しているコロナ感染症対策について、これまで以上に連携強化されながら、地域の生活を支えるために、日々取り組まれています。現場では、感染対策をとりながらも日常を維持するため、様々な立場で、多くの課題に看護職の皆様一人一人が日々真摯に向き合い活躍されています。

「家族とは一緒にご飯を食べる人」という言葉がありますが、その食事を摂ることさえも気を配るような日々となっています。何気ない日常にある幸せの意味を考える時、家族という形の変化やコロナ感染症による行動制限を経験してなおさらのこと、人と人が共に喜び合い、語り合い、お互いがつながっていると実感できることの大切さを感じております。今後、コロナ感染症のみならず、豪雨・地震等の自然災害など、地域住民の方々が個々の苦難を乗り越えながら健康的な生活を維持していくためにも、住み慣れたこの地域の方々への安心安全な医療の提供と健康的な暮らしにつながるよう、三次・庄原支部活動支援に貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



今こそ、看護機能の強化と地域との連携強化

支部長 **寺本 辰美**
[庄原赤十字病院]

平素より、広島県看護協会三次・庄原支部の活動にご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。

今年度から、広島県看護協会三次・庄原支部の支部長に任命されました。6月の任期開始から支部長として色々な会議に出席させていただいています。支部長は、病院・施設・行政など多職種の方々と、地域で暮らす人々の健康と福祉に携わらせて頂く重要な立場であることを実感しています。そして、コロナ禍の今こそ、看護機能の強化と地域・施設間の連携強化が必須であることも痛感しています。

新型コロナウイルス感染症は拡大と収束を反復し、第7波を迎えました。行動制限なしのコロナ禍3年目は、今まで以上に医療・介護の現場を逼迫させています。医療・介護の現場と一般社会とのギャップを感じます。支部活動においても研究サポート事業は実施できましたが、BLS研修は延期せざるを得なくなりました。感染の動向を見ながら、今年度中に実施していきたいと考えています。地域看護事業である「まちの保健室」も時期を検討中です。第1回多職種連携会議研修会はZoomで開催いたしました。今後は、「ストレスマネジメント」「働きやすい職場作り」の研修会を予定しています。交流事業はバスソルト作りです。是非とも開催し皆様と交流が図れることを期待しています。

今後も、ZoomなどITを駆使しながら、新しい発想で支部活動に取り組んでいきたいと思ひます。支部活動を通じて、地域貢献とこの地域で働き続けられる看護職の支援につながるよう役員一同尽力していきたいと思ひます。どうぞよろしく願いいたします。

三次・庄原支部 役員紹介



支部担当理事 **阿川 純子** (新任)
[市立三次中央病院]



支部長 **寺本 辰美** (新任)
[庄原赤十字病院]



副支部長 **佐藤 美樹**
[庄原赤十字病院]



副支部長 **新川 蔦子**
[三次地区医療センター]



財務 **田坂 晃子**
[庄原赤十字病院]



教育 **那須 敏子**
[広島県立三次看護専門学校]



総務 **鯨谷 香織** (新任)
[市立三次中央病院]

今年度より総務となりました鯨谷香織です。分からない事が多くご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、看護職のスキルアップや地域での活動に皆様のご指導を頂きながら頑張りたいと思います。よろしくお祈りいたします。



総務 **濱田 めぐみ** (新任)
[ビハーラ花の里病院]

今年度より総務を担当させていただく濱田です。コロナ禍の中で制限されることありますが、支部活動に協力して少しでもお役に立てればと思います。微力ながら頑張ります。どうぞよろしくお祈りいたします。



教育 **楨原 芙美子** (新任)
[岡崎医院]

この度、教育担当幹事をさせて頂くことになりました。看護への社会的ニーズや療養の場の多様化に対応できるよう、研修等の企画運営に取り組みます。皆様のお力添えを頂きながらになりますが、よろしくお祈りいたします。



社経 **伊折 真由美** (新任)
[庄原市立西城市民病院]

今年度から新しく役員となりました。わからない事ばかりですが、コロナ禍でもできる支部活動に、少しでも役にたてればと思っています。よろしくお祈りいたします。



社経 **日高 誉子** (新任)
[三次地区医療センター]

今年度より社経を担当させて頂くことになりました。支部活動に少しでも貢献できるよう微力ながら頑張りたいと思います。皆様のお力添えよろしくお祈りいたします。



支部長事務 **廣田 昭子** (新任)
[広島県看護協会三次・庄原支部]

4月に支部事務職員になりました廣田昭子です。看護職が地域を支える活動のお役に立ちたいと思っています。お声掛けください。よろしくお祈りいたします。

役員一同 支部活動が、会員の皆様にとりまして有意義なものになるように頑張ってお祈りいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

事業報告 ～令和3年度後半から4年度～

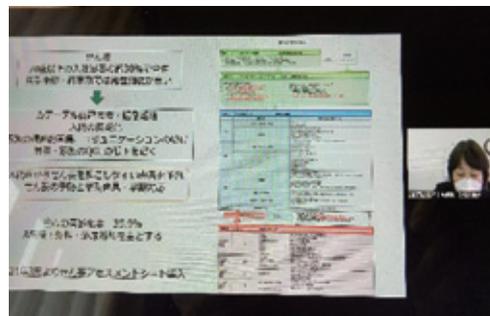
令和3年度 看護研究発表会・令和4年度 看護研究サポート学習会

看護研究サポートは、県立広島大学保健福祉学部看護学科在宅看護学を担当されている加利川真理先生から看護研究の基礎についての講義を受け、先生に指導・助言を頂きながら研究を進めていきました。

看護研究発表会は、令和4年3月19日(土)にオンラインで開催しました。56名の参加者のもと、サポート3題と一般応募5題の計8題(うち5題は口演、3題は示説)の研究の成果

を発表することができました。初めてのオンラインでの開催であり難しさもありましたが、質問を通して活発な意見交換ができ、より理解を深めることができました。

また、日々の看護実践の中で生じた課題が研究テーマになっており、他施設の参加者からも翌日から看護実践に生かしたいとの意見もありました。研究の意義を改めて実感しました。



令和4年度の研究サポート事業もスタートし、コロナウィルスの感染拡大により開催が懸念されましたが、今年度は2施設3題の申し込みを頂き6月18日(土)に学習会を開催することができました。研究者は、先生から助言・指導を受けながら研究に取り組んでいます。その成果を令和5年2月開催予定の研究発表会において、皆さんで共有し看護実践に活かしていきましょう。

那須 敏子 (広島県立三次看護専門学校)



多職種連携会議 令和4年度 第1回研修会について

多職種連携協議会令和4年度第1回研修会が7月9日オンラインで開催されました。コロナ禍となりよく聞く言葉としてフレイルがありますが、今回はオーラルフレイルに特化。『広島県におけるオーラルフレイルの現状』と題して、令和3年度に実施された節目年齢歯科検診オーラルフレイルに関する調査結果をもとに三次市歯科医師会片山荘太郎先生の講演、口腔ケアに関わる専門職の方々のパネルディスカッションがありました。

歯科受診といえば口腔内に何らかの異常がある時に受診する人が多く、定期受診が少ない状況です。調査結果

から見てきたことは、壮年期からオーラルフレイルを疑うが、50%を超えている現状があり、ただただ驚きでした。今回の結果を自分事として捉え、オーラルフレイルそしてフレイルとならないよう機能を維持するために、節目年齢歯科検診がその入り口であり、健診の必要性を実感しました。今後、節目年齢の歯科健診が一般健診並みに周知・実施されていくには、多職種や行政との連携、街ぐるみでのアプローチが必要であると課題が見つかりました。

皆さん、節目年齢歯科健診していますか？

新川 薫子 (三次地区医療センター)

令和4年度事業

実施年月日	事業	場所
令和4年6月18日(土)	看護研究サポート学習会	三次地区医療センター
令和4年7月9日(土)	多職種連携会議研修会 『広島県におけるオーラルフレイルの現状』	WEB
令和4年7月→中止	進路相談会	三次地区医療センター
令和4年7月23日(土) →延期	BLS	市立三次中央病院
令和4年7月30日(土) →延期	BLS	庄原赤十字病院
令和4年8月	進路相談会	庄原赤十字病院
令和4年11月	支部だより発行	
令和4年10月22日(土)	社会経済研修会 『働きやすい職場づくり』	庄原赤十字病院
令和4年11月19日(土)	組織強化研修 『看仏連携』	市立三次中央病院
令和5年2月25日(土)	看護研究発表会	市立三次中央病院

New Face!

頑張っている新人看護師紹介!



看護師 **茶木 萌奈** [庄原赤十字病院]

4月から看護師としてお世話になっております。1度は進学のため県北を離れたのですが、お世話になった大好きな県北で看護師として恩返しがしたいと思い戻ってまいりました。コロナ禍で臨地実習を経験する機会が少なく、看護の現場を知ることからのスタートでしたが、新人研修や先輩方からのサポートが手厚く少しずつ成長させていただいています。患者様が生まれ育った地で安心、安楽な看護が提供できるよう初心を忘れず頑張りたいと思います。

看護師 **神園 くるみ** [三次地区医療センター]

4月から入職し、約4ヶ月がたちました。その中で色々な患者様とご家族と関わらせていただき、命の重みや仕事のやりがいなど、たくさんのことを学びながら充実した毎日を送っています。

悩むことや失敗することも多く落ち込むこともありますが、その度に先輩方からのサポートや患者様との関わりにより元気づけられています。看護師の仕事はとても大変ですが人としても成長できているように思います。これからもチームで患者様に寄り添えるよう、笑顔で一生涯懸命さを忘れず頑張ります。



編集後記

コロナの影響で十分な支部活動できない状況ですが、少しでも皆様のお役に立てればと願っています。明日も笑顔で頑張れますように(*^_^*)

社経 日高

[発行日] 令和4年11月1日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 三次・庄原支部
〒727-0013 広島県庄原市西本町2-10-2 OKUDAハウス101
TEL/FAX:0824-72-5015 E-mail: s-miyoshi@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 寺本 辰美